

TOTO

住宅向け車いす対応洗面（エンドパネル式）

LBML075 ~ 120A/B U型（フロアキャビネット）
LCML075 ~ 120U型（カウンター） / LFML40（ブラケット）

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1. 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	--------------------	--	-----------------------

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告

<p>水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う</p> <p>火災や感電および水漏れの原因になります。</p> <p> 必ず実行</p>	<p>電源はAC100Vを使用する</p> <p>AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。</p> <p> 必ず実行</p>	<p>壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する</p> <p>キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。</p> <p> 必ず実行</p>
--	--	---

注意

<p>湯・水を逆に配管しない</p> <p>水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。</p> <p> 禁止</p>	<p>浴室など湿気の多い場所へ設置しない</p> <p>木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。</p> <p> 禁止</p>	<p>カウンターの上にのらない</p> <p>カウンターが破損し、けがをするおそれがあります。</p> <p> 禁止</p>
<p>凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う</p> <p>凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。</p> <p> 必ず実行</p>	<p>取り付け完了後、カウンターやエンドパネルにがたつきがないかを必ず確認する</p> <p>使用中にカウンターが落下したり、エンドパネルが転倒してけがをするおそれがあります。</p> <p> 必ず実行</p>	<p>取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する</p> <p>水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。</p> <p> 必ず実行</p>
	<p>開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する</p> <p>段ボールや締め付けバンドなどでけがをするおそれがあります。また、ビニール袋などは子供などが、かぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。</p> <p> 必ず実行</p>	

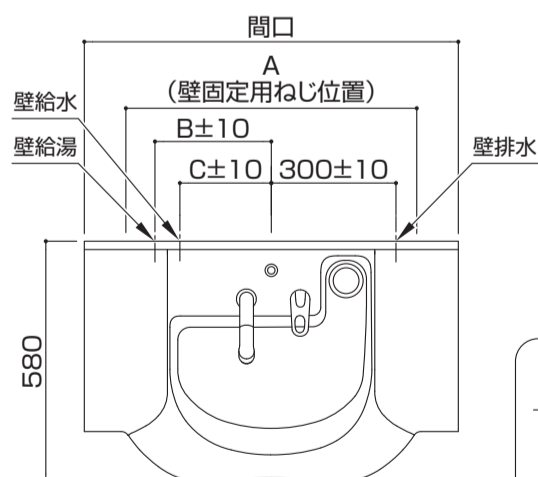
2. 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。
- 間口900以上はブラケットがつく仕様になります。
- ☆印はあふれ面高さ700の場合です。（750の場合は☆印に+50mmしてください）
- 本図はシャワー水栓タイプ仕様を示します。

間口	750	900	1000	1200
A	550	700	800	1000

水栓	名称	自動水栓	シャワー水栓	シングルレバー水栓
	品番	LMLTEN84G	LMLTLS05303J(一般)	LMLTLS05303Z(寒冷)
床給水	連結管	-	LTN65LX40	LTN65LX40
	ニップル	-	TH14763	TH14763
壁給水	連結管	-	LTN65LX25	-
	ニップル	-	TH14763	-

【壁給水の場合】



水栓	あふれ面	止水栓品番	数量	B	C	D
自動水栓	700	自動水栓に同梱	-	100	5	295
	750					345
シャワー水栓	700	LTL4C11U	2個	280	220	310
	750					360
シングルレバー水栓	700	LTL4C11U	2個	160	100	295
	750					345

【床給水・樹脂配管の場合】

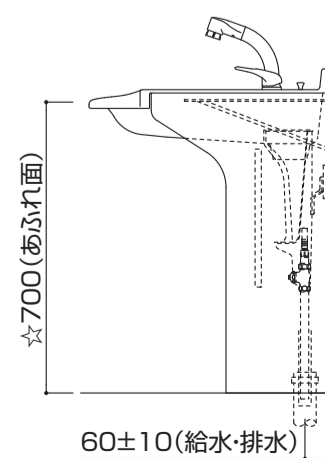
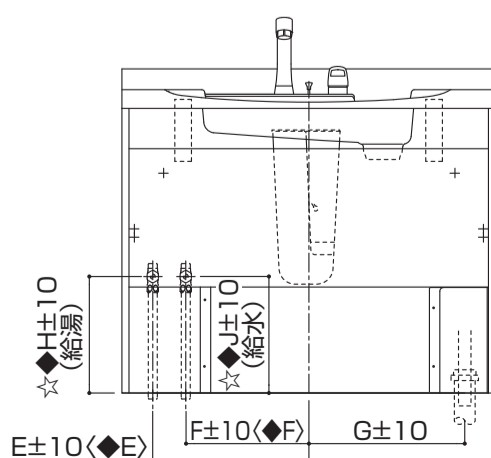
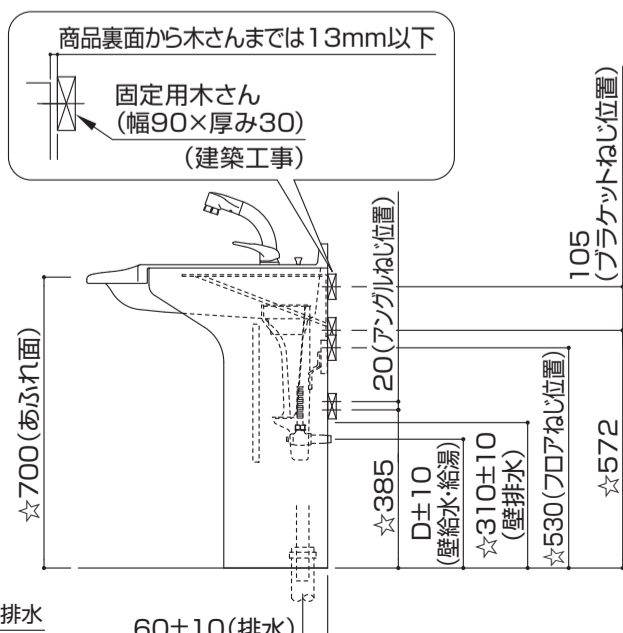
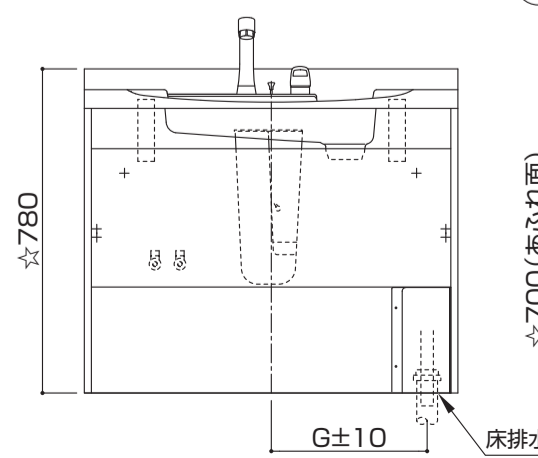
- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAをご購入ください。

※ 自動水栓は床給水はありません。

※ ◆印は樹脂配管の場合です。

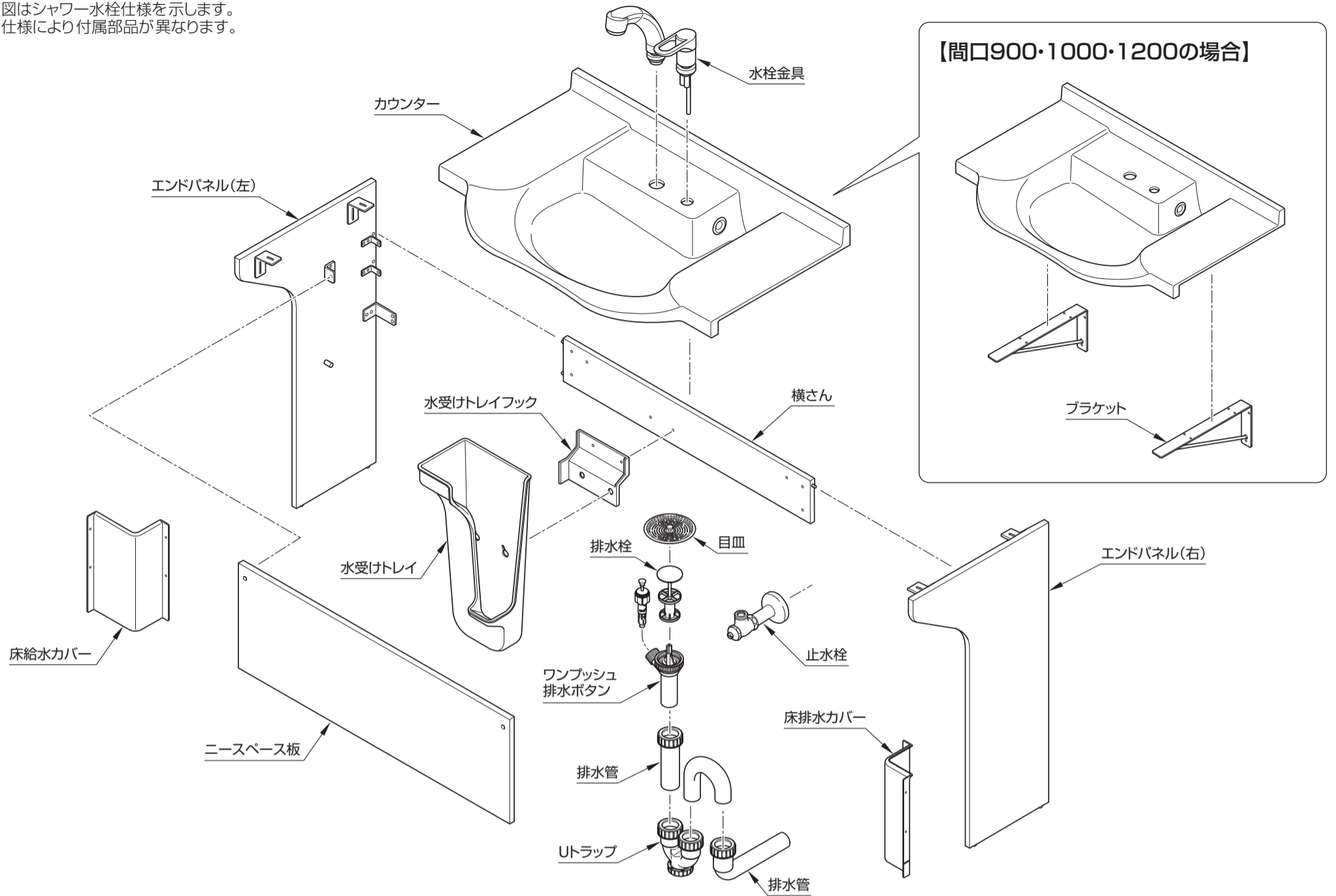
水栓	あふれ面	止水栓品番	数量
シャワー水栓	700	LTL4D14U	2個
	750	LTL4D13U	

水栓	間口	E◆E	F	◆F	G	◆H	◆J
シャワー水栓 シングルレバー水栓	750	300	220	230	300	280	380
	900	375	295	305	375		
	1000	425	345	355	425		
	1200	525	445	455	525		



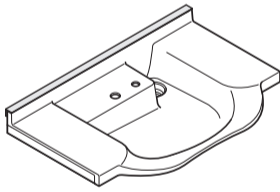







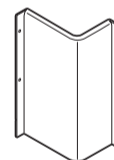

3. 全体構成図

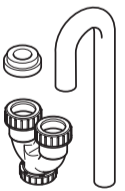
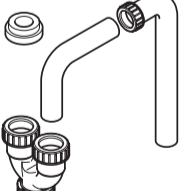






※ 図はシャワー水栓仕様を示します。
仕様により付属部品が異なります。






4. 付属部品明細

【カウンター】※1

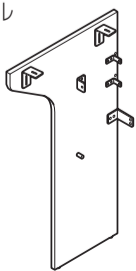
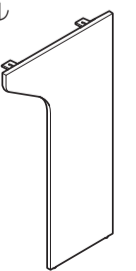
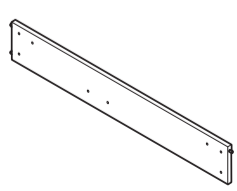
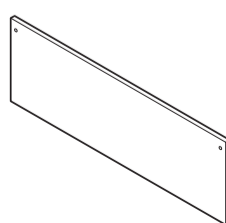

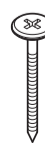


カウンター  1個	排水栓  1個	目皿  1個	ワンプッシュ機能部  1個	取扱説明書  ※2 1セット	組立・設置説明書(本書)  1冊	床排水用の場合 カバー  1個	床給水用の場合 なべタッピンねじ(φ4.5×14)  4本	カバー  1個	なべタッピンねじ(φ4.5×14)  4本
---	--	---	--	---	---	---	---	--	--

床排水の場合 間口750mm 排水トラップ  1セット	間口900・1000・1200mm 排水トラップ  1セット	壁排水の場合 排水トラップ  1セット	排水管  1セット	シャワー水栓の場合 水受けトレイ式 水受けトレイ  1個	なべ小ねじ(φ4.0×10)  ※使用しません。 2本	なべタッピンねじ(φ4.5×16)  2本	水受けトレイフック  1個
--	--	---	--	---	---	--	--

【ブラケット】

間口900・1000・1200mmの場合 ブラケット  2個	なべタッピンねじ(φ6×60)  6本	なべタッピンねじ(φ4.5×16)  8本
--	--	--

【フロアキャビネット】

エンドパネル(左)  1個	エンドパネル(右)  1個	横さん  1個	ニースペース板  1個	化粧ねじ(M6×21)  2本	壁固定用座付タッピンねじ(φ4.5×35)  6本	化粧キャップ  6個	なべタッピンねじ(φ4.5×16)  8本
--	--	--	---	--	--	---	--

※ 1: 仕様により付属部品が異なります。

※ 2: 必ずお客様にお渡しください。

5. 組立・設置上のご注意

- 持ち運びにご注意ください。
板物は水平に持つと折れることがあります。必ず垂直に立てて運んでください。
- かたいものを落としたり、ぶつけたりしないでください。
カウンターおよびエンドパネルにひびが入ったり、欠けたりすることがあります。
- 熱にご注意ください。
直射日光、火のついたタバコなどはカウンターおよびエンドパネルのそりや変色の原因になります。
- 洗剤にご注意ください。
タイル洗いなどの洗剤がカウンターおよびエンドパネルにかからないようにしてください。
万一、かかった場合はすぐに水洗いしてください。
- 保管の際は平らな場所に置いてください。
壁に立てかけたり、平らでない場所に置いたままにしておきますとカウンターが変形することがあります。
- 浴室など湿気の多い場所への設置は木部が膨潤するおそれがありますので避けてください。
- カウンターおよびエンドパネルを破棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
- 養生フィルムは内装仕上げなどすべての工程が完了するまで取り除かないでください。

6. 使用条件

- 水栓金具・機器類の使用条件は水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。

7. 取り付け条件

警告



必ず実行

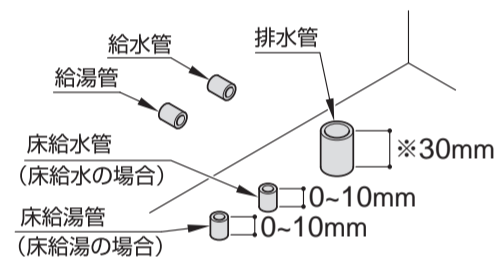
- **キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れる**
※ウォールキャビネットは洗剤などが収納されるとかなりの重量になりますので地震などの際に落ちることのないように、壁固定用ねじ取り付け位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。
- **木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付ける(建築工事)**

コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。
プラグは壁固定用ねじにあわせて現場にて準備してください。
(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

キャビネットが転倒、落下してけがをするおそれがあります。

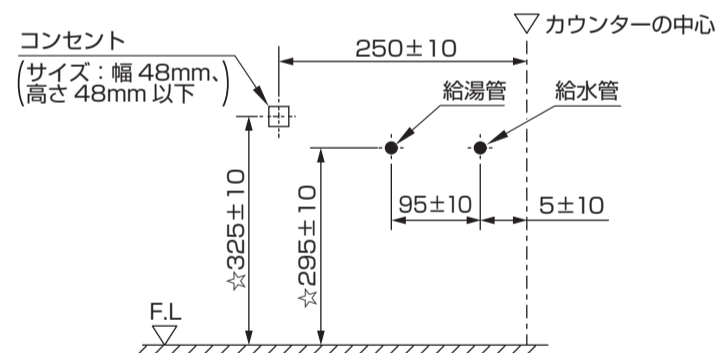
- 洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施す
- 給水管を所定の位置に取り出す
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す
- 湿気の多い場所では、木部が膨潤する原因になるので設置しない
※特に浴室内には、設置しないでください。
- 三方壁に設置する場合は、商品開口に対して片側5mm以上のクリアランスを確保してください。更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。
- 排水管にねじなどを落とすおそれがありますので、段ボールなどでふたをしておく
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立ち上げる
※排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコンシーリング材でシールしてください。



【自動水栓(サーモタイプ)の場合】

- 給水・給湯管、コンセント位置を所定の位置に取り出す
- コンセントは、幅:48mm、高さ:48mm以下のサイズのコンセントを設置する
- ☆印はあふれ面高さ700の場合(750の場合は☆印に+50mmする)



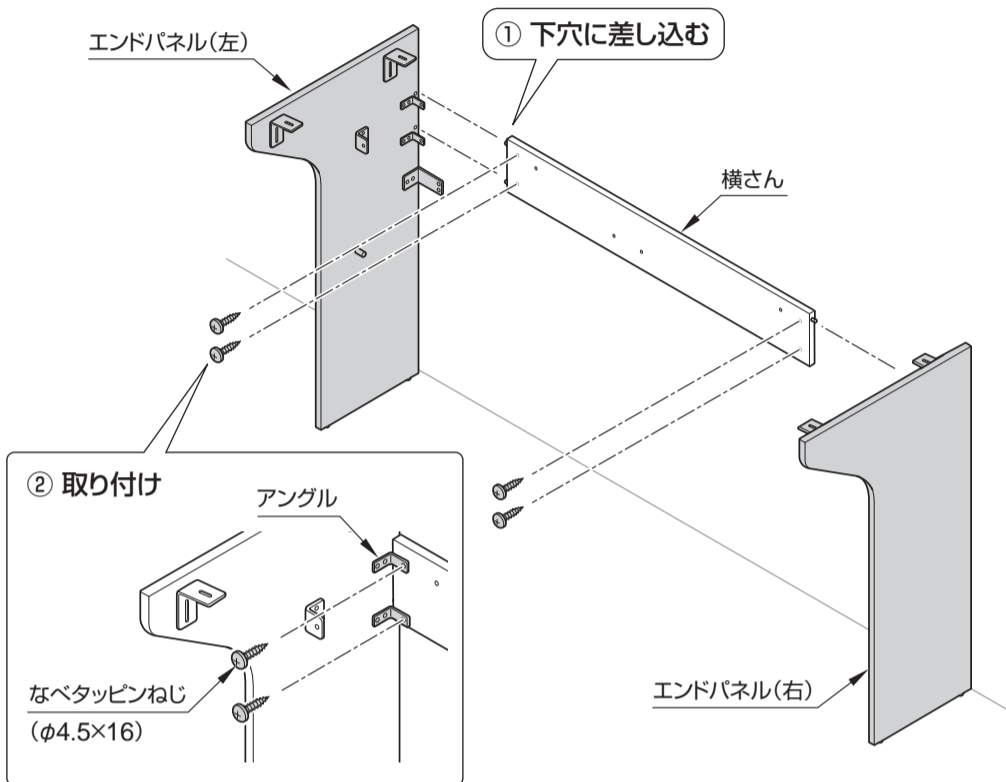
8. 取り付け手順(番号順に取り付けてください。)

1 止水栓の取り付け

- 取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す
※ 完成図の給水位置をご参照ください。

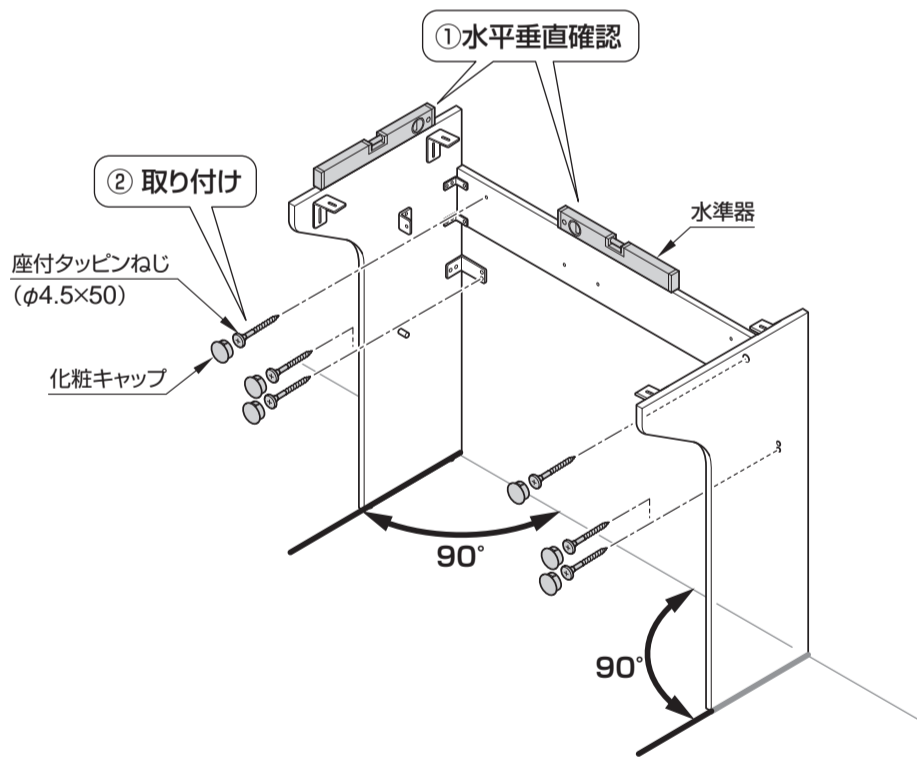
2 エンドパネルの取り付け

① エンドパネルを組み立てる



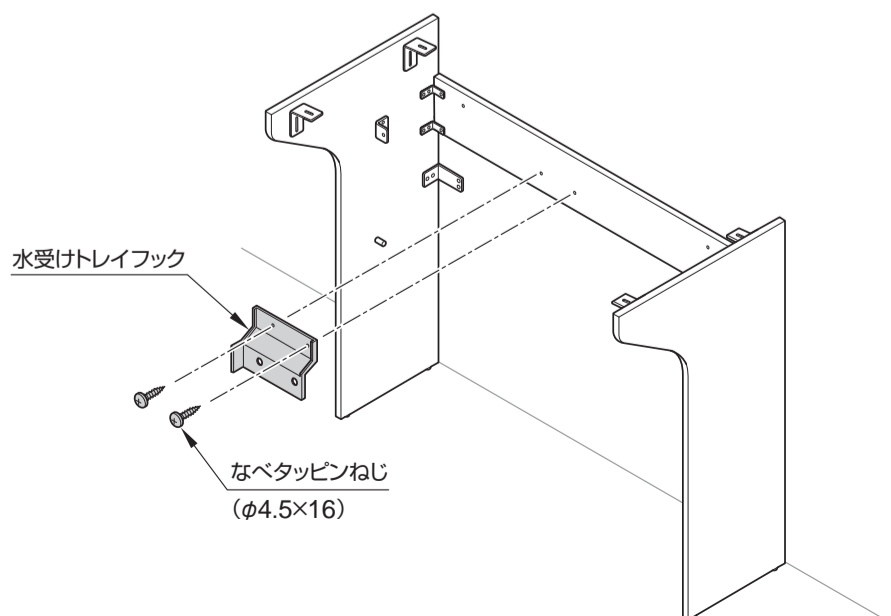
② エンドパネルを取り付ける

- ※ 床・壁面にゆがみがある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。



③ 水受けトレイフックを取り付ける

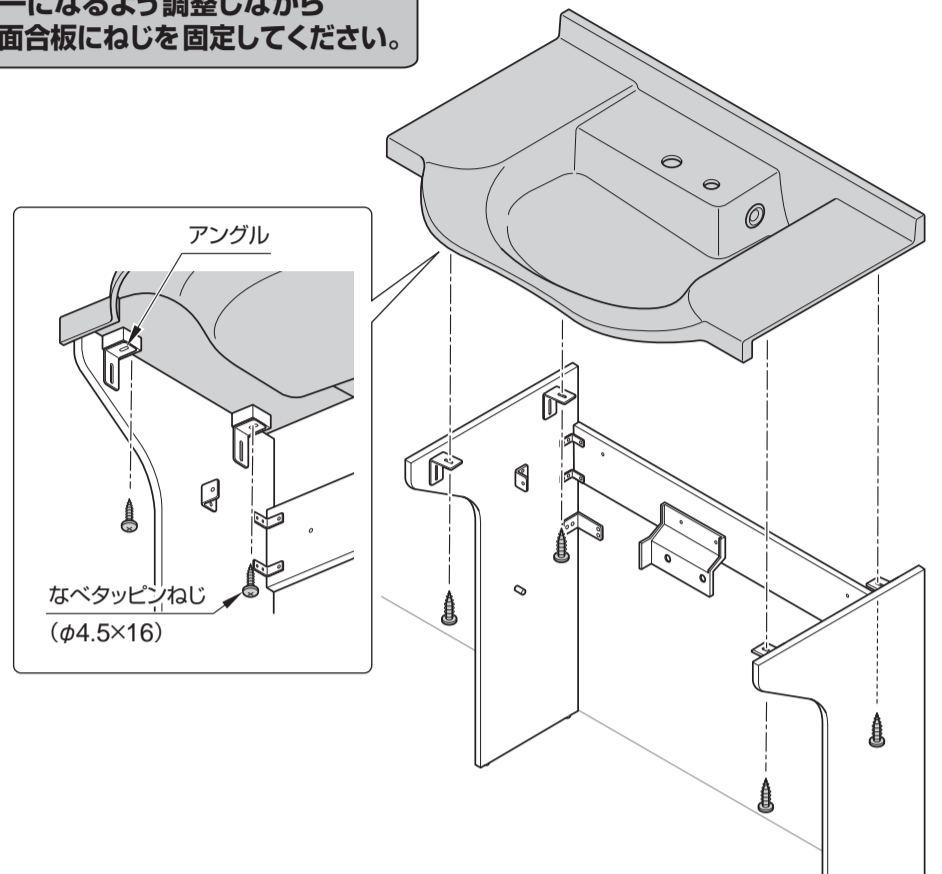
[シャワー水栓(TLS05303型)の場合]



3 カウンターの取り付け

ポイント

カウンター左右のすき間が均一になるよう調整しながら裏面合板にねじを固定してください。

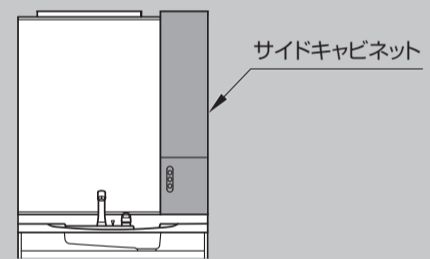


4 補強用ブラケットの取り付け

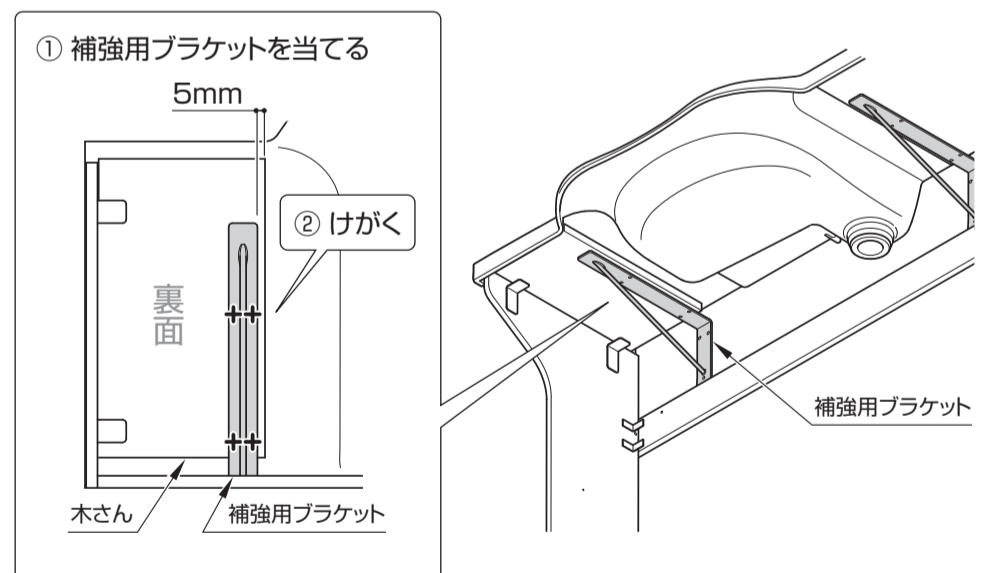
[間口900・1000・1200サイズの場合]

ポイント

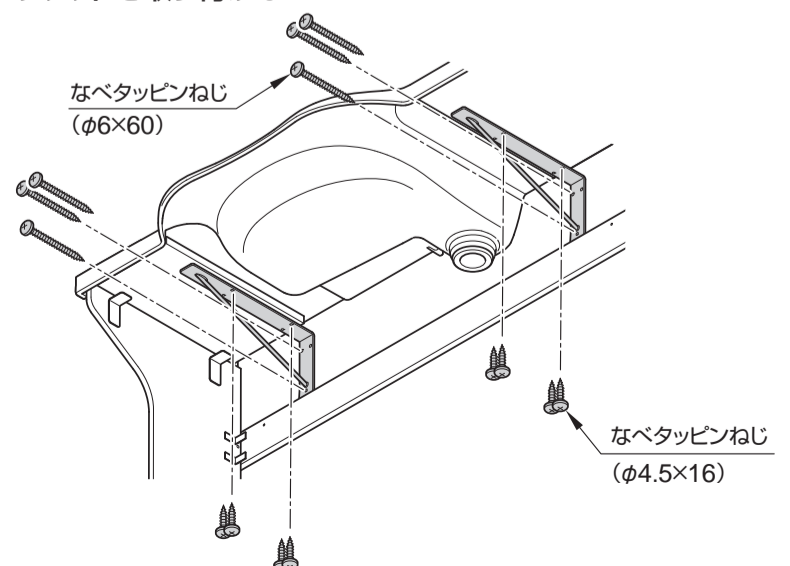
サイドキャビネットがある場合は、サイドキャビネット設置後、補強用ブラケットを取り付けてください。



① 補強用ブラケットを木さん、壁面に当て、取り付け位置をけがく



② 補強用ブラケットを取り付ける



8. 取り付け手順(つづき)

5 水栓の取り付け

重要

取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す

※ 取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

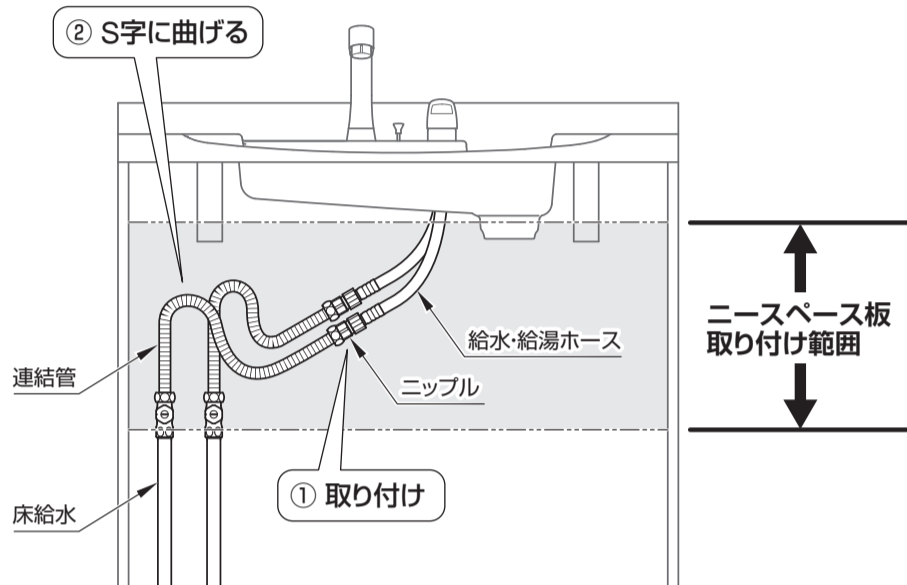
6 連結管とニップルの取り付け

重要

連結管は必ずニースペース板取り付け範囲内へおさめる

【床給水の場合】

※ 床給水の場合は、連結管を下図のように曲げて連結してください。



7 排水直管の取り付け

※ 工具は使用しないでください。

注意



禁止

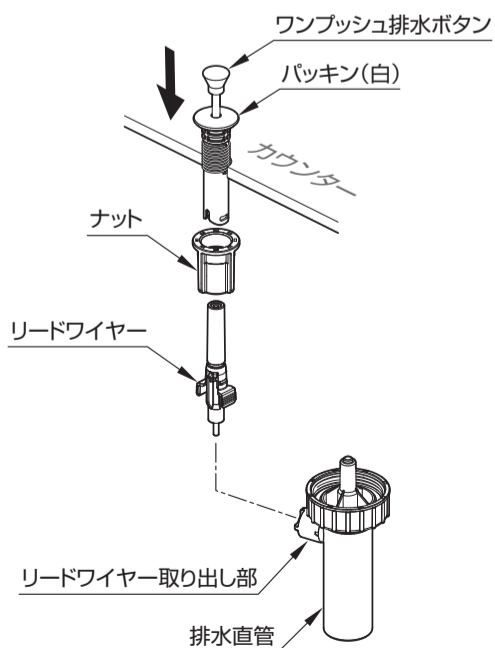
- **カッターは使用しない**
製品を傷つける原因になります。
- **リードワイヤーに工具を引っ掛けない**
操作不良を起こす原因になります。



必ず実行

- **リードワイヤー取り出し部は左向きにする**
操作不良を起こす原因になります。

- ① ワンプッシュ排水ボタンをカウンターに取り付ける
- ② ナットを手で締め、排水直管を接続する

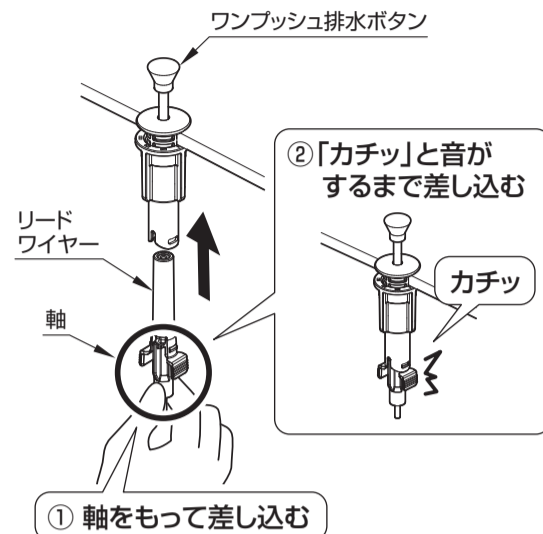


7 排水直管の取り付け(つづき)

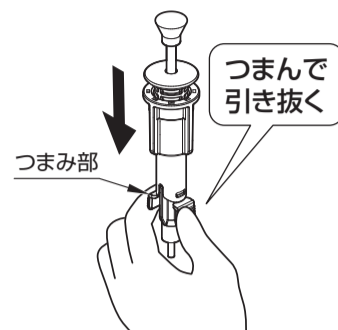
- ③ リードワイヤーをワンプッシュ排水ボタンに取り付ける

※ 取り付け後、リードワイヤーを軽く引っ張って脱落しないことを確認してください。

〈取り付けかた〉



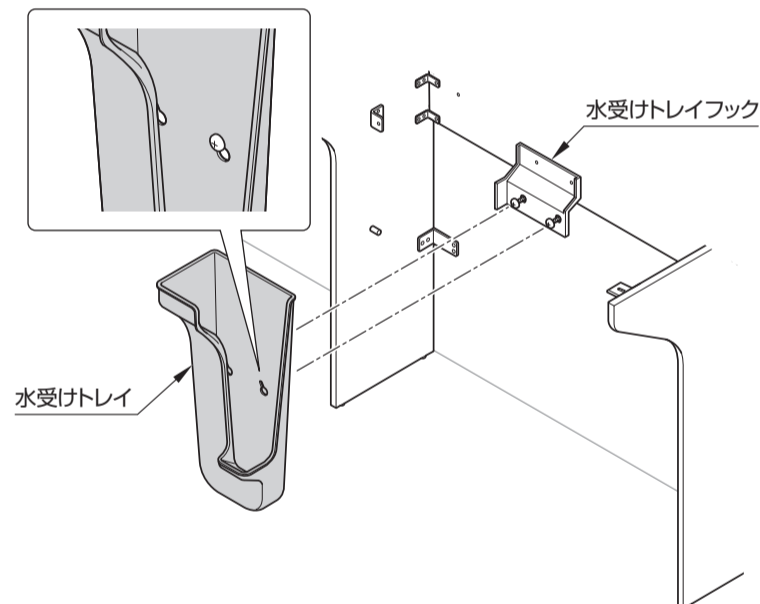
〈取り外しかた〉



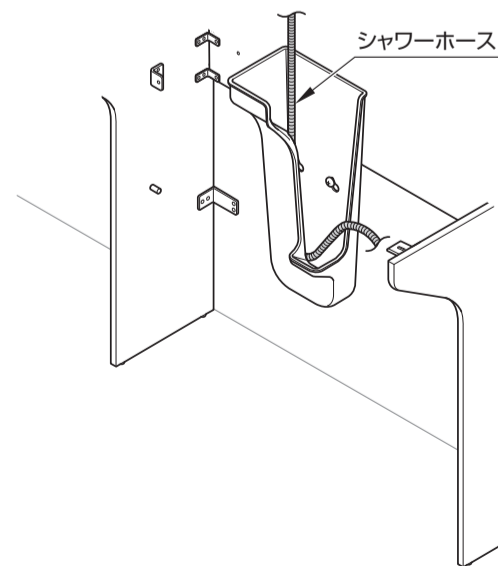
8 水受けトレイの取り付け

【シャワー水栓(TLS05303型)の場合】

- ① 水受けトレイフックに取り付ける



- ② シャワーホースを水受けトレイ内に入れる

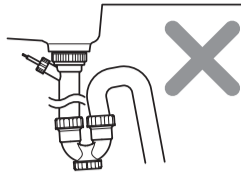


9 排水トラップの取り付け

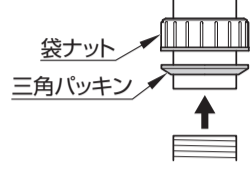
△ 注意



- 排水管を逆勾配にしない
水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。



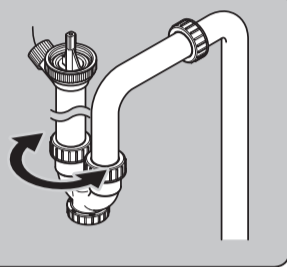
- パッキンの方向に注意する
- 袋ナットは工具を使用せず、手で確実に締め付ける



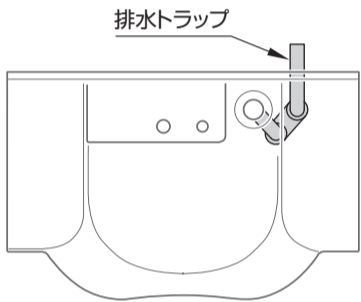
① 排水の引き回しを確認する

ポイント

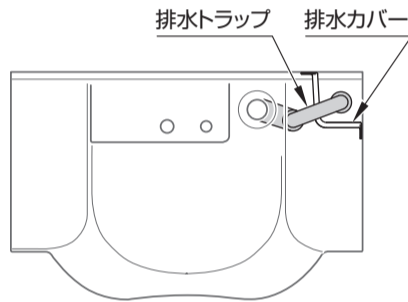
接続部分を回転させ、排水位置を調節してください。



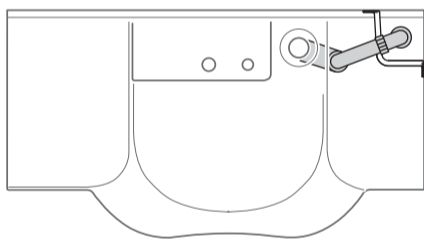
【壁排水の場合】



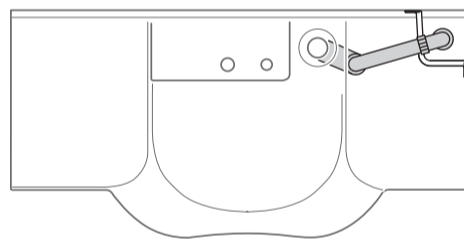
【床排水(間口750mm)の場合】



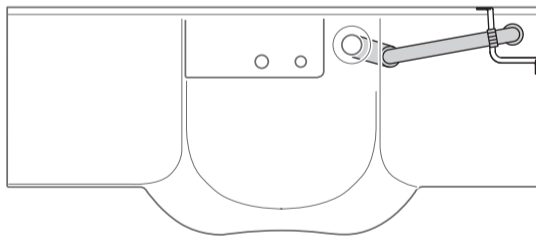
【床排水(間口900mm)の場合】



【床排水(間口1000mm)の場合】

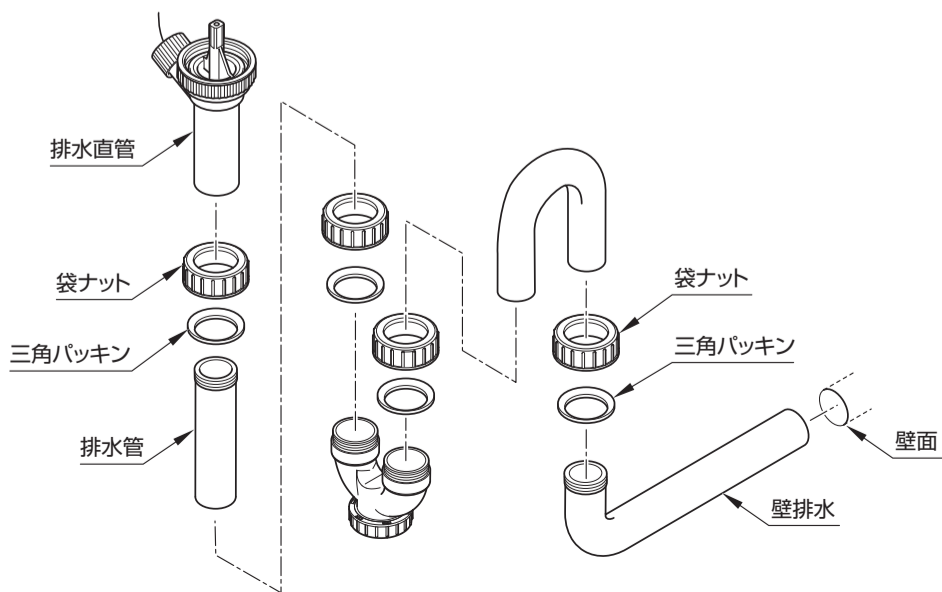


【床排水(間口1200mm)の場合】

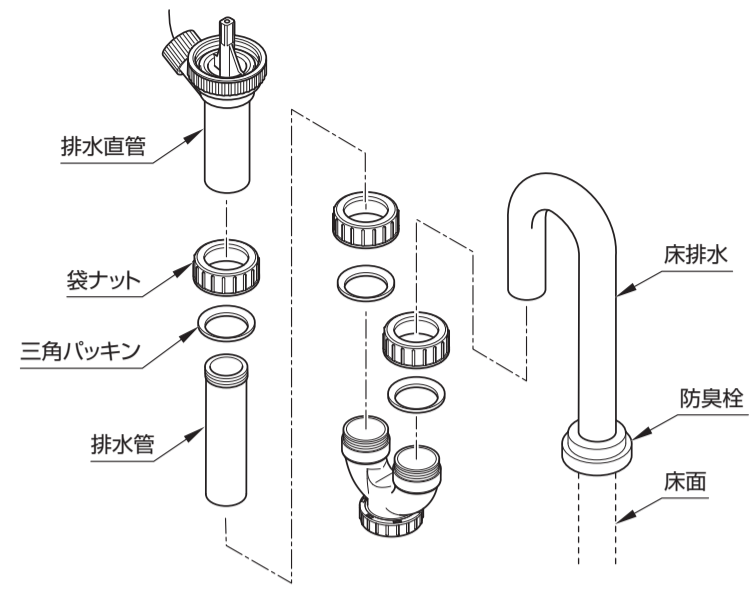


② 排水トラップを取り付ける

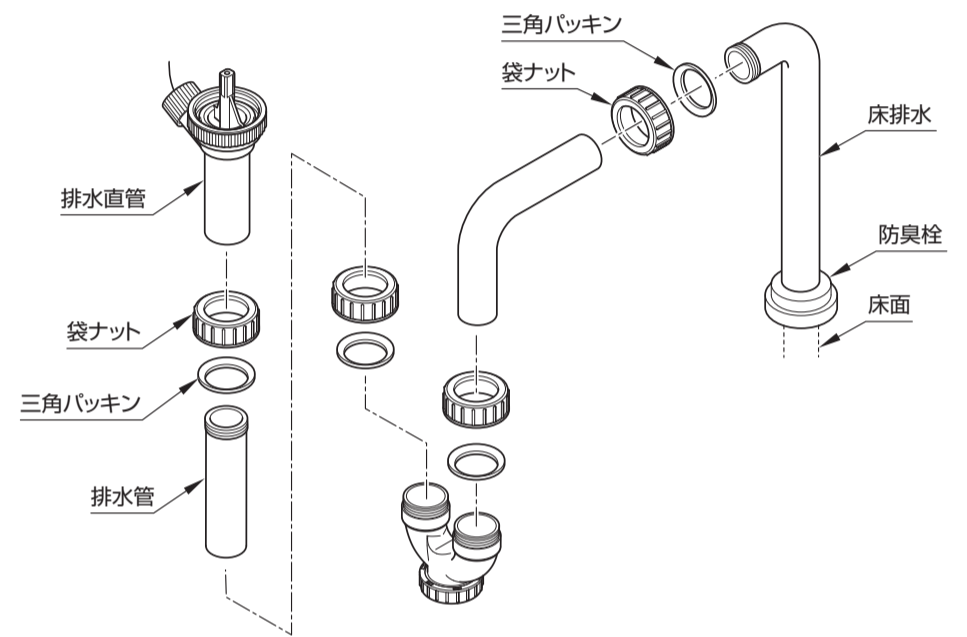
【壁排水の場合】



【床排水(間口750mm)の場合】



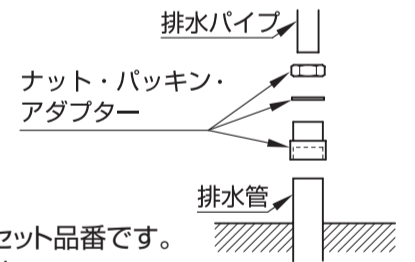
【床排水(間口900・1000・1200mm)の場合】



- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプター(下表)で確実に接合する

【アダプター接続の場合】

アダプターの種類	サイズ
T1122R(鋼管用)	R1 ¹ / ₄
T1122J(塩ビ管用)	30用
LO48(塩ビ管用)	40用
LO49(塩ビ管用)	50用



- ※上記品番はアダプター・パッキン・ナットのセット品番です。
- ※T1122Jは排水パイプのカットが必要です。

△ 注意

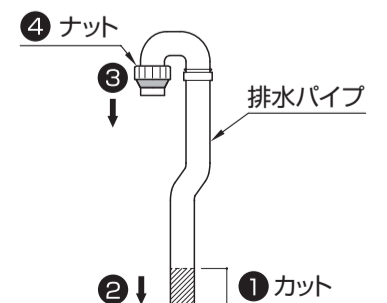


接着剤は必ず、アダプターと排水管の両方に塗布する
片側のみ塗布した場合、水漏れの原因になります。

必ず実行

〈T1122J使用時の取り付け手順〉

- ① 排水パイプを現場に合わせてカットする(下図参照)
- ② カット側をアダプターに差し込む
- ③ 排水パイプ上部を排水トラップの奥に当たるまで差し込む
- ④ ナットを手で確実に締める



△ 注意



工具は使用しない
水漏れの原因になります。

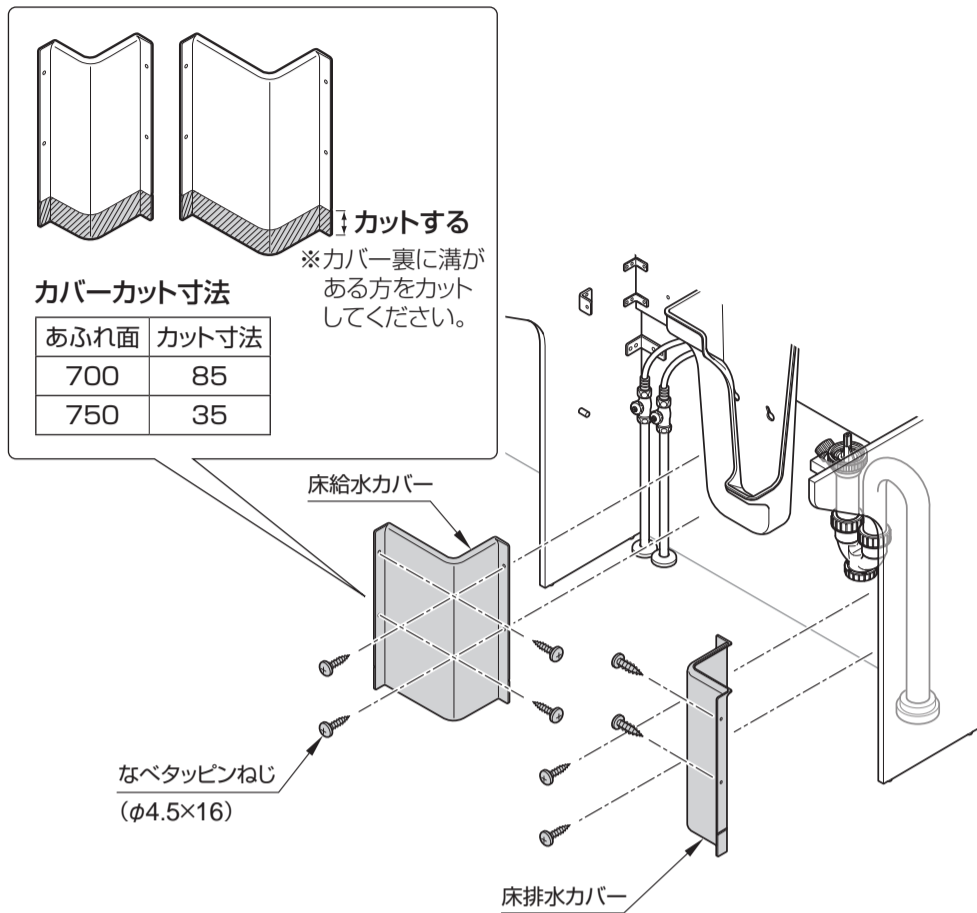
禁止

10 床給排水カバーの取り付け

【床給排水の場合】

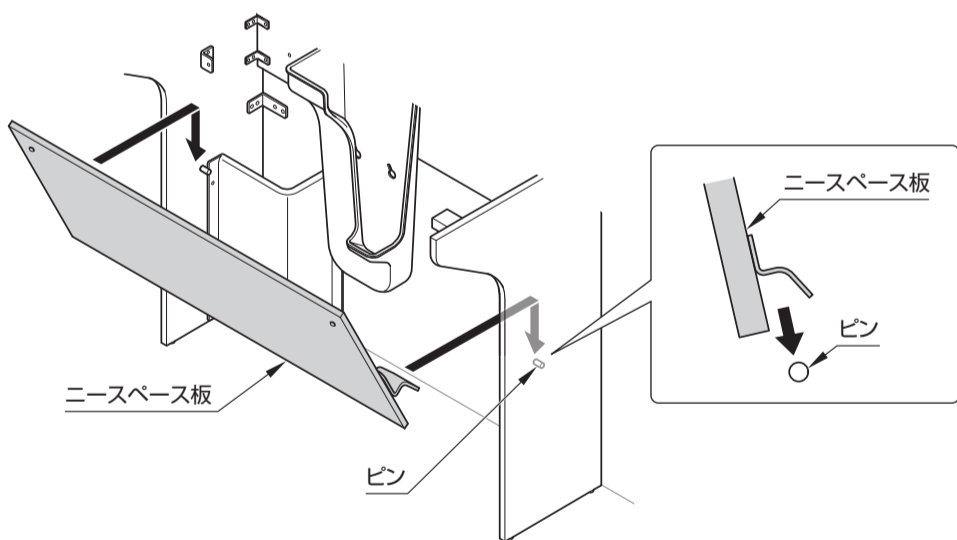
- 1 床給排水カバーの切断
- 2 床給排水カバーの取り付け

※カバーを左右に取り付ける場合は、8カ所を固定してください。

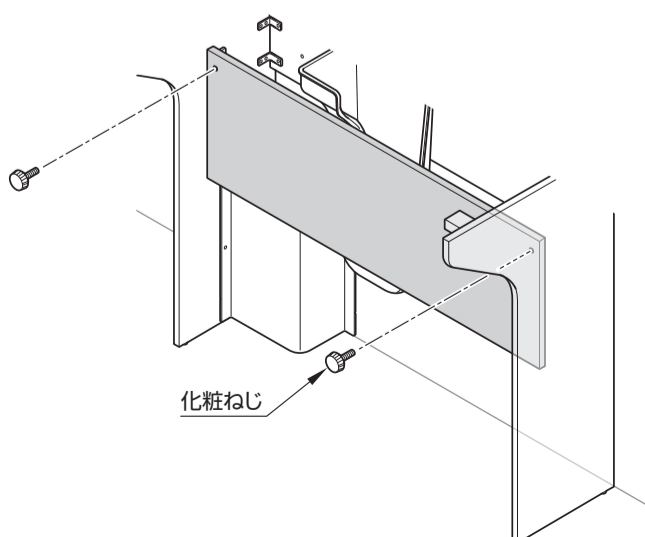


11 ニースペース板の取り付け

- 1 ニースペース板をピンに引っかける



- 2 ニースペース板を取り付ける



9. 壁やトールキャビネットとの処理方法

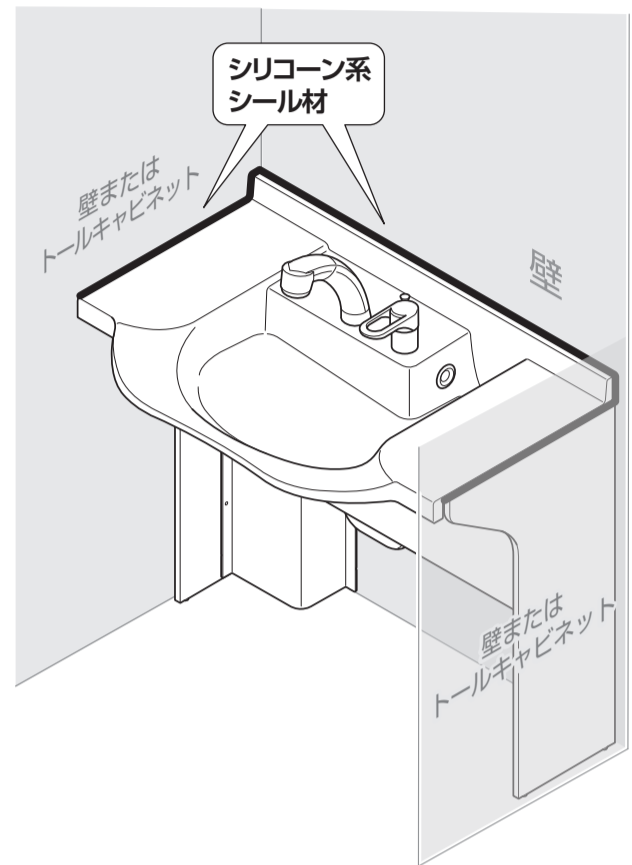
△注意



シリコン系シーリング材 (メジール) を充てんする
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因になります。

必ず実行

※化粧鏡をカウンターの上のせる場合、正面部はシリコン系シーリング材不要です。



10. 取り付け完了後の確認と清掃

- 取り付けが完了後、水を出してみ、配管内部のつまり、水栓金具や排水トラップの接続部などから水漏れがないか確認する
- 商品が壁に確実に固定されていることを確認する
- 器具のがたつきなど安全上の不具合がないことを確認する
- 商品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取る
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきする

重要

有機溶剤 (シンナー・アセトン) などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しない

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮る
- ニースペースに傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがす

重要

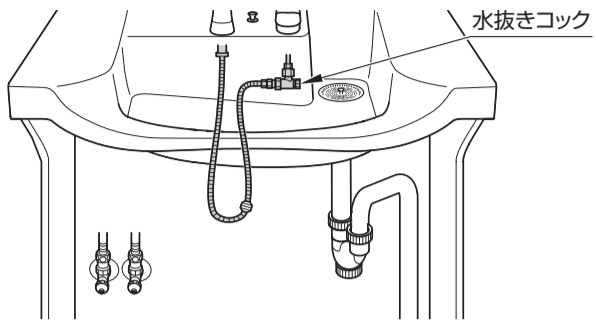
目皿を紛失させない

11. 凍結予防の仕方(シャワー水栓のみ)

MEMO

- 凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行う

※ 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けています。
※ 水栓金具の水抜きについては、水栓金具に付属の施工説明書を参照ください。



△ 注意



水抜きコックは工具は使用せず手で確実に締め付ける
水漏れの原因になります。

必ず実行

〈 排水トラップの水抜き 〉

- ① 水受けの容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開ける
- ② 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じる

